

科 目 名		学年	
情報処理Ⅱ : Information Processing II		2C	
教 員 名		杉本憲司 : SUGIMOTO Kenji	
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	90分×15回	履修	演習・後期
学 修 単 位			
-			
授 業 概 要			
<p>情報処理の基本を習得する。1年に続いてワープロの応用、表計算の基本および応用を身近な題材を用いた実習を中心にして説明する。 パソコンのハードウェアの基本について簡単な仕組みとOSについて説明する。</p>			
到 達 目 標		評 価 方 法	
<p>1)ワープロが十分使える。 2)表計算ソフトが使い、データ処理できる。 3)基本的なパソコンの仕組みを説明できる。</p>		<p>評価方法は、①レポート、②期末試験で評価する。評価配分は、①60%、②40%とする。</p>	
学 習 ・ 教 育 目 標		(B)	JABEE基準1(1)
回	項 目	内 容	
第1	ワープロ復習(1)	ワープロを用いて1年の情報処理で学んだことをレポートにする。	
第2	ワープロ復習(2)	同上	
第3	表計算ソフト(1)	表計算ソフトの一つである、Microsoft Excellについて、説明する。画面、データの入力、修正、保存、数式による計算方法を説明する。	
第4	表計算ソフト(2)	ワークシートの書式選定、印刷について説明する。	
第5	表計算ソフト(3)	関数による計算1、基本的な関数について説明する。	
第6	表計算ソフト(4)	関数による計算2、相対参照・絶対参照について説明する。	
第7	表計算ソフト(5)	グラフ機能1、(グラフの作成、編集)について説明する。	
第8	表計算ソフト(6)	グラフ機能2、(グラフの細部を調整、sin・cosカーブ)について説明する。	
第9	表計算ソフト(7)	その他の関数グラフ、中和滴定曲線について説明する。	
第10	表計算ソフト(8)	データベース機能(成績表の作成、データの並べ替え)について説明する。	
第11	表計算ソフト(9)	データベース機能(データの抽出、ピボットテーブル)について説明する。	
第12	パソコンのハードウェア(1)	パソコンの構成、BIOSとOS、デバイスドライバ、CPUについて説明する。	
第13	パソコンのハードウェア(2)	マザーボード、メモリ、グラフィックカード、ハードディスク、リムーバブルドライブ、カタログ等について説明する。	
第14	総合演習	全体的な捕捉説明を行い、理解を深める。	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。	
自 学 自 習 の 内 容		演習レポートを課す。	
関 連 科 目		情報処理 I	
教 科 書		情報リテラシーの基礎(白井晴男監修、近代科学社)	
参 考 書			
授 業 評 価 ・ 理 解 度		最終回到授業評価アンケートを行う。	
副 担 当 教 員			
備 考			